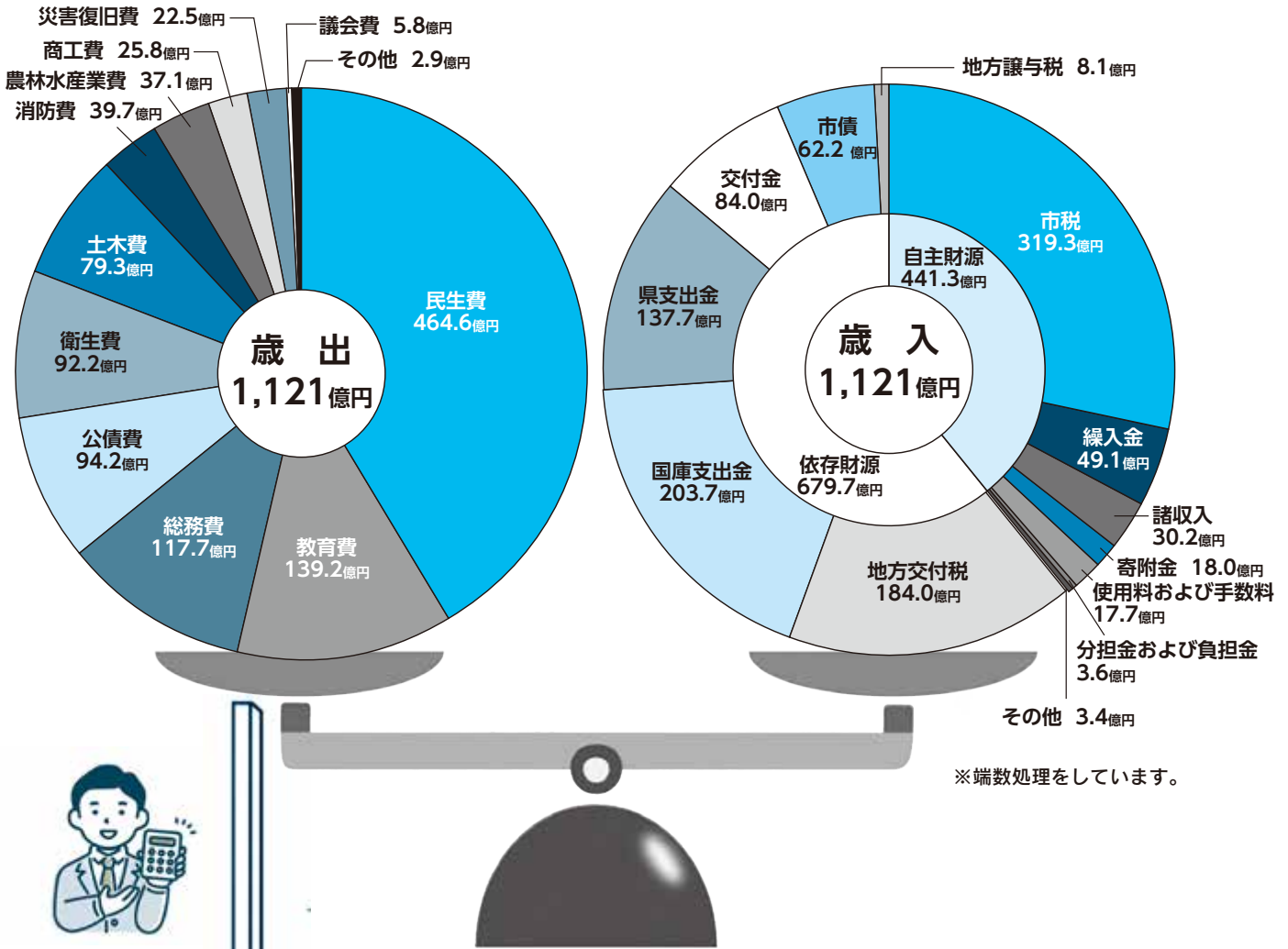


令和6年度佐賀市の予算

過去最大の1,121億円でスタート



歳出予算1,121億円を、項目別に佐賀市の人口227,674人(令和6年2月末現在)で割って、100円単位で四捨五入した金額です。合計すると、一人当たり49万2,400円になります。

一般会計の歳出予算を市民一人分に換算してみよう

民生費 20万4,100円

社会福祉、高齢福祉、児童福祉などに

公債費 4万1,400円

市債の元金償還と利子の支払などに

消防費 1万7,400円

消防、救急、防災活動などに

災害復旧費 9,900円

災害により受けた被害の復旧などに

教育費 6万1,100円

学校、幼稚園、社会教育などに

衛生費 4万500円

保健衛生、ごみ、し尿処理などに

農林水産業費 1万6,300円

農林水産業の振興などに

議会費 2,600円

市議会の運営などに

総務費 5万1,700円

市役所の管理、運営、広報などに

土木費 3万4,800円

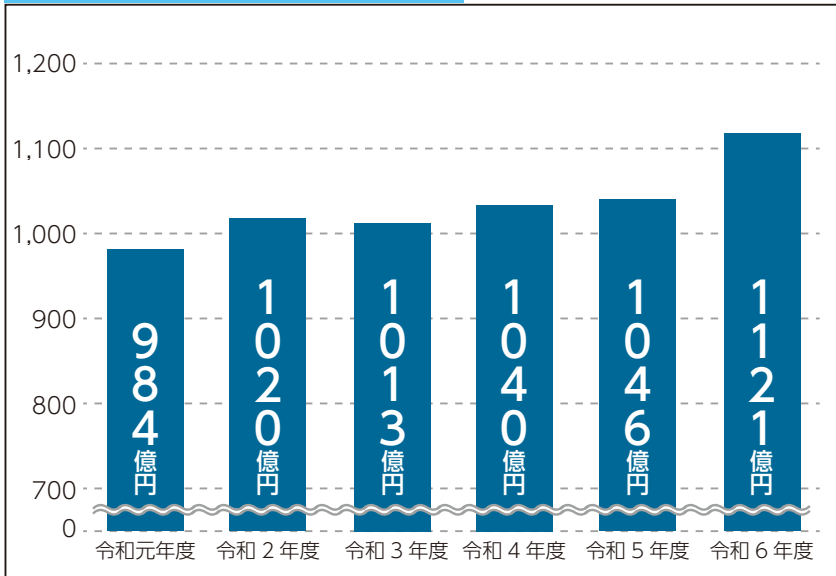
道路、公園、河川の維持管理などに

商工費 1万1,300円

商工業の振興などに

その他 1,300円

一般会計当初予算の推移



令和6年度の予算規模

会計		当初予算額	前年度比	
一般会計		1,121 億円	7.2	
特別会計	国民健康保険	265 億 3,000 万円	0.2	
	国民健康保険診療所	1 億 1,900 万円	△ 7.0	
	後期高齢者医療	42 億 5,600 万円	10.9	
企業会計	自動車運送 (市営バス)	収益的収入	11 億 4,500 万円	8.9
		収益的支出	12 億 1,600 万円	9.5
		資本的収入	3,600 万円	5.9
		資本的支出	7,900 万円	△ 30.7
	水道	収益的収入	45 億 9,400 万円	0.5
		収益的支出	41 億 9,900 万円	2.0
		資本的収入	6 億 7,400 万円	△ 19.6
		資本的支出	24 億 4,200 万円	△ 4.9
	工業用水道	収益的収入	2,000 万円	53.8
		収益的支出	1,700 万円	30.8
		資本的収入	2,000 万円	53.8
		資本的支出	2,700 万円	58.8
	下水道	収益的収入	84 億 8,400 万円	2.3
		収益的支出	83 億 5,800 万円	1.7
		資本的収入	55 億 4,900 万円	4.3
		資本的支出	77 億 5,600 万円	11.0
富士大和 温泉病院	収益的収入	14 億 6,000 万円	△ 4.2	
	収益的支出	15 億 3,800 万円	△ 1.5	
	資本的収入	3 億 4,600 万円	11.6	
	資本的支出	3 億 6,100 万円	△ 1.4	

- ・収益的収入および支出とは、一事業年度の経営活動に伴って発生する全ての収益と費用をいいます。
- ・資本的収入および支出とは、建物・施設の建設といった支出の効果が次年度以降に及ぶものや企業債の元金償還などの費用と、その財源となる収入をいいます。

令和6年度予算のテーマは
「佐賀市まるごと
全力応援予算」

予算編成の背景

国の地方財政への基本的な考え方として、社会保障関係経費や人件費の増加が見込まれる中、地方が住民ニーズに応えつつ、子ども・子育て政策の強化などさまざまな行政課題

に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源総額について、前年度と同水準を確保するとされています。

経済状況は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあり、高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、前向きな動きがみられます。その一方で、賃金上昇は物価上昇に追いつかず、個人消費は依然として力

強さを欠いているなど、地域経済の回復はまだまだ途上にあります。

このようなことから、健全な財政運営に配慮しつつ、限られた財源を最大限に生かし、「佐賀らしさ」を大切にしながら、佐賀の良いところをさらに磨き上げ、市民の皆様を全力で応援するための「佐賀市まるごと全力応援予算」として編成されています。

議会から

過去最大の額となった当初予算を可決しました。予算は、議決して終わり、ではありません。議会は、今後1年間、予算が計画どおりに使われているか、常にいろいろなところでアンテナを張り、事業の進み具合や効果をしっかりチェックしていきます。

今年は、議会報告会を市内9カ所で開催します。ぜひ報告会にお越しいただき、議会や市に伝えたいことをお聞かせください。